

大会宣言

昨年初春から全国に拡大していった新型コロナウイルス感染症により、亡くなられ、健康を害された方々に心からお見舞いを申し上げる。また、感染者の治療や感染防止対策に全身全霊を捧げておられる医療従事者、エッセンシャルワーカーの皆様に敬意を表する。

我が国の労働災害は、関係者の努力により、長期的に減少し、昨年の全産業における死亡災害は三年連続で過去最少となった。一方、休業四日以上之死傷災害は、平成十四年以降で最多となっている。高齢者の労働災害が年々増加し、転倒災害や墜落・転落災害などが依然として減少していない中で、昨年は、新型コロナウイルス感染症の罹患による労働災害も多数発生している。

労働者の健康をめぐる状況は、一般健康診断による有所見率が年々増加し、仕事や職業生活に関する強い不安、悩み又はストレスを感じる労働者は半数を超えている。また、化学物質による職業性疾病の防止対策や、病気を抱えた労働者の治療と仕事の両立は引き続き大きな課題となっている。

コロナ禍にあつて、全社的な安全衛生活動や、安全衛生意識の醸成が困難になってきている中で、前述の課題を克服していくためには、DXに代表されるイノベーションをハード・ソフト両面に取り入れ、活かしていくことが重要となる。リアルとリモートを適切に組み合わせることで、効果的な安全衛生教育を推進し、リスクアセスメントや危険予知活動などを職場の実態に応じて柔軟に、かつ的確に実施していくことが求められている。初めてハイブリッド方式で開催する今回の東京大会が、そのような新たな活動の契機となり、経営トップのリーダーシップのもとに、活動が全国に広がっていくことを希求する。

労働災害のない、安心して働ける職場環境を実現することは、全ての働く人、全ての国民の願いである。ここに、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという決意を新たにするとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に関係者が一丸となって取り組むことを誓う。

右、宣言する。

令和三年十月二十七日

第八十回全国産業安全衛生大会